けんぽれん病院情報『ぽすぴたる！』について

平成16年11月11日
健康保険組合連合会

Ⅰ．事業の経緯・理念

けんぽれん病院情報『ぽすぴたる！』（以下、ぽすぴたる！）は、本会・医療保険改革プロジェクト・チームによる『今後の制度改革に向けての考え方』（13年4月12日付け）の中に盛り込まれた、改革の理念・目標の一つ「患者中心の医療の実現」に基づき、13年度から医療関係者・学者・学識経験者を中心とした「検討委員会」（委員長：開原成允 氏　国際医療福祉大学副学長・大学院長）を設置して審議・検討を重ね、インターネットを通じて15年10月20日に試行事業として公開しているものである。

試行事業として位置付けているのは、公開時点において、1）掲載病院数が全国約9,100病院のうち2,227病院（約24%）であること、2）掲載情報の内容や情報検索の仕組み等について発展的に改良を加える余地があること―によるものである。今後、利用者のご意見・ご要望をもとに、医療関係者や専門家のご見識を賜りながら、掲載情報の改善・見直しを図ってゆく方針である。

［参考］今後の制度改革に向けての考え方（13年4月12日）

健保組合をはじめとする医療保険者は、患者と加入者の利益を最優先し、患者中心の医療の実現を図る。そのため、患者が自ら選択し決定できるよう、ＩＴを活用した医療情報の提供など保険者機能の強化を図る。

Ⅱ．情報提供の考え方

『かしこい患者の心得』（「その第一歩はまず知ることから」「医師との対話を大切に」：別紙参照）を情報提供の基本コンセプトとして、入院や手術、専門的治療、あるいはセカンド・オピニオンが必要となる場合に、患者自身が主体的に医療と向き合い、医師と十分な対話・コミュニケーションを行うために必要となる医療情報の提供が、その第一義的な目的である。

「病院」の情報を掲載対象としているが、「診療所」に関する情報提供については、1）プライマリーケアにおける診療所の機能・役割（かかりつけ医等による情報提供）、2）地方自治体、医師会、WAM NET等、公的機関・団体による地域の実情に即した既存サイトによる情報提供―等を踏まえ、リンクによって情報提供の網羅性の向上に努めているところである。

Ⅲ．ぽすぴたる！の主な特徴

（１）検索機能

○ 約 300 の疾患名による検索
○ 疾患領域別のセカンド・オピニオン取組み病院の検索
○ 病院名、診療科名、専門外来、リハビリテーション、在宅医療等、利用者のニーズに応じた検索―等

（２）掲載情報

○ 取り扱っている疾患と検査・手術・治療に関する情報
○ 診療科別医師数・常勤医師数や看護師、専門スタッフの配置状況
○ 学会認定専門医数
○ インフォームド・コンセント及びセカンド・オピニオンへの取組み

（３）お問い合わせ窓口

web サイトによる情報提供に合わせ、電話窓口を設置し、１）利用者からの意見・要望の受付、２）検索方法等の利用ガイダンス、３）掲載内容に関する相談・苦情の受付―等を行っている。

（４）その他

①救急医療、②高度先進医療、③難病医療、④診療所の情報―等、ぽすぴたる！では把握できない情報については、既存サイトとのリンクを行い、情報の網羅性の向上に配慮している。

Ⅳ．ぽすぴたる！リニューアル版の公開（17 年度予定）

利用者のご意見・ご要望をもとに、病床区分（病院機能）に着目した掲載項目の追加や客観性・検証性等、情報の質の観点から掲載内容の見直し・改善を現在、検討中であり、17 年度をめどにリニューアル版の公開を行なう予定である。

（本件に関する照会先）
医療部（病院情報センター開設準備室）
電話：03-3403-0586 ／ Fax：03-3423-9173

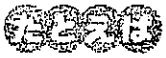
健康保険組合連合会

けんぽれん病院情報 OFFICIAL SITE

ぱすぽたる!

かしこい患者の心得　その第一歩は、まず知ることから。

この病院はどんな治療をしてくれるんだろう？セカンド・オピニオンをお願いしても大丈夫？……けんぽれん病院情報は、あなたが病院を自ら選択するときに役立つ、患者さんの知りたい情報や病院側の伝えたい情報をまとめて提供しています。
診療科目や診療時間だけでなく、検査や治療、手術についての情報や インフォームド・コンセント 、セカンド・オピニオン の取り組み状況、病院の得意分野などの情報がご覧になれます。このサイトを上手に活用して、かしこい患者(『 かしこい患者の心得 』をぜひ、お読みください)になりましょう！



- 人間ドックで診断された病気について専門治療を受けられる病院を探したい場合
- 主治医から手術をすすめられたが他の専門医の意見も聞いてみたい場合

- めざす診療科があって病院を探したい場合
- 特定の専門外来や日帰り手術に対応している病院を探したい場合

○ このサイトでは全国約9,200の『病院』(20ベット以上ある保険医療機関)の情報を提供しています。現在、検索できる病院の数は 2,512です(左端の「検索できる病院数」をご覧ください)。

○ 掲載している情報は、健保連が決めた形式で病院から提供いただいた内容となっています。ご利用にあたっては、かならず免責事項をお読みください。

○ 病院を選ぶ際には、かかりつけ医や主治医の意見をもとに、自分に適した病院を探す必要があります。夜間や休日の救急医療など、緊急の場合には、まずお住まいの都道府県の救急情報をご利用ください。

推奨ブラウザ:InternetExplorer5.01Service Pack1以上またはNetscapeNavigater6.0以上
(推奨ブラウザ以外でご覧になりますと、レイアウトが崩れる等の不具合が生じる可能性があります)

当サイトに掲載されている全ての画像やデータについて、無断転用・無断転載をお断りいたします。
(C)2003 KENPOREN

かしこい患者の心得
医師との対話を大切に

“まず、知ること”に加え、“医師との対話を大切にする”—これも、かしこい患者の心得のひとつです。ささえあい医療人権センターCOML(コムル)では、患者が主人公になって医療に参加するための心構えとして、小冊子『医者にかかる10箇条』の発行・普及に努めています。是非ご一読ください(詳しくは、www.coml.gr.jpまで)
また、医師との対話に欠かせない専門用語として、『インフォームド・コンセント』と『セカンド・オピニオン』があります。かしこい患者になるためにしっかりと会得しておきましょう！

医者にかかる10箇条 —あなたが“いのちの主人公・からだの責任者”—

1 伝えたいことはメモして準備
2 対話の始まりはあいさつから
3 よりよい関係づくりはあなたにも責任が
4 自覚症状と病歴はあなたの伝える大切な情報
5 これからの見通しを聞きましょう
6 その後の変化も伝える努力を
7 大事なことはメモをとって確認
8 納得できないことは何度でも質問を
9 医療にも不確実なことや限界がある
10 治療方法を決めるのはあなたです

インフォームド・コンセントとは

医師が患者に治療や処置について必要な情報を提供し、患者はそれを選択・同意したうえで医療を受けることをいいます。これを実現するためには、医師は患者にわかりやすく説明するための努力が必要ですし、患者側も医療を医師まかせにせずに、医療に関心を持ち、医師と積極的にコミュニケーションをとりながら理解を深める必要があります。